

# 日本史籍講読5－Ⅳ

科目ナンバリング JPH-410  
選択必修 2単位

宮川 麻紀

## 1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、日本古代史の史料を読解できるようになるため、まずはその前提となる漢文法を学ぶ。その上で、平安時代の歴史書『日本後紀』をテキストとして精読していく。受講者は順番に発表者となり、『日本後紀』の書き下し文と現代語訳、語句・人物説明を書いたプリントを作り、発表する。また、その解釈や背景にある歴史的事項について、発表者以外にも含めて全員で討議する。なお、『日本後紀』以外の様々な飛鳥・奈良・平安時代の史料も紹介し、その場で輪読することができる。

## 2. 授業の到達目標

- ①古代史料の読解力を習得する。
- ②日本古代史について幅広い知識を会得する。
- ③辞書や参考文献を用いて、自身の手で調べることができるようになる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- (1)書き下し文・現代語訳・語句および人物説明の発表がきちんとできているか 40%(到達目標①～③)
- (2)史料の読解に関する小テスト3回 60%(①と②)

## 4. 教科書・参考文献

### 参考文献

森田悌・黒板伸夫 訳注日本史料『日本後紀』 集英社

## 5. 準備学修の内容

- ・発表者はあらかじめ、『日本後紀』の書き下し文と現代語訳、語句・人物説明を記したプリントを作る。
- ・分からない漢字や熟語は『大漢和辞典』や『日本国語大事典』で、歴史用語の意味や意義は『国史大辞典』で調べておく。
- ・テストに備えて、ノートを見直し復習する。

## 6. その他履修上の注意事項

日本古代史の基本的な知識は、『日本の時代史』や『大学でまなぶ日本の歴史』(いずれも吉川弘文館)などの通史の本から習得しておいてほしい。

## 7. 授業内容

- |        |   |
|--------|---|
| 【第1回】  | オリエンテーション<br>・『日本後紀』についての解説<br>・授業の進め方や評価方法の説明<br>・『日本の時代史』『大学でまなぶ日本の歴史』から課題を出す |
| 【第2回】  | 『日本後紀』の読解と討議<br>課題の発表   |
| 【第3回】  | 日本後紀の発表①<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第4回】  | 日本後紀の発表②<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第5回】  | 日本後紀の発表③<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第6回】  | 日本後紀の発表④<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第7回】  | 小テスト(1) 発表①～④の内容<br>『類聚三代格』の輪読  |
| 【第8回】  | 日本後紀の発表⑤<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第9回】  | 日本後紀の発表⑥<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第10回】 | 日本後紀の発表⑦<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第11回】 | 小テスト(2) 発表⑤～⑦の内容<br>『延喜式』の輪読  |
| 【第12回】 | 日本後紀の発表⑧<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第13回】 | 日本後紀の発表⑨<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第14回】 | 日本後紀の発表⑩<br>・漢文の読解、平安時代史の習得   |
| 【第15回】 | 小テスト(3) 発表⑧～⑩の内容<br>『小右記』の輪読  |